

動画配信

1

## 地域公共図書館における学生主体の多文化サービス支援活動（日本語・英語による読み聞かせ、館内サインの英訳版作成）

事業担当者

教育学部生涯学習学科 准教授 那珂元（代表）、外国語学部英米語学科 教授 良知恵美子

目的・概要

令和3年度からの焼津市立焼津図書館での多文化サービス支援の経験にもとづき、令和5年度は静岡市立御幸町図書館と連携し、学生主体による多言語・多文化サービスの支援活動として、①「日本語・英語の絵本読み聞かせと手遊び」、および②「館内サインの英訳版作成」の二つの活動を実施した。実施期間は、令和5年9月から令和6年2月までの約5ヶ月間で、学生10名（外国語学部英米語学科2名、教育学部生涯学習学科7名、短期大学部日本語日本文学科1名）が参加した。支援活動①は「御幸町図書館開館20周年先行イベント」として扱われ、外国ルールの方を含む多くの親子が参加した。広報用チラシも参加学生が作成した。また、支援活動②では、書架間の英語表記の分類POPや各掲示物の英訳版、コミュニケーションツール「図書館のいろんなサービスシート」の英語翻訳、カウンター内の多言語対応「応対会話集」のバージョンアップ作業をそれぞれ行った。成果物は令和5年2月に学生が図書館職員に直接納品した。

事業成果

本活動の成果は3つある。第1に、参加学生は、本活動における協働的な学びを通じて社会人としての基礎力・応用力を身につけた。第2に、大学との連携は、図書館職員に新しい刺激を与え、図書館における多言語・多文化サービスの発展に貢献できた。第3に、本事業が関わったイベントの参加者や図書館利用者に対して、多文化共生の意識を喚起したという点で、地域の多文化共生推進に寄与することができた。今後は、本事業の経験を活かし、多文化ファシリテーター育成プログラムの策定に向けた研究活動へ繋げると同時に、高校生を含めた地域在住のさまざまな市民に参加してもらおう活動に拡大していきたい。



左：「日本語・英語による読み聞かせ」の様子



右：館内サインの英語訳など成果物納品の様子